

平成 21 年 7 月 6 日 ( 月 ) 10 : 45 ~ 11 : 30

伏見南小学校 弦楽器のアウトリーチを実施

対象 : 6 年生 70 名

場所 : 音楽室

講師 : 徳岡裕紀 ( ヴァイオリン )、鈴木洋子 ( ヴァイオリン )、多田素子 ( ヴィオラ )  
渡部良 ( チェロ )

#### 内容 ( 概要 )

チャリティオーケストラコンサートの趣旨説明 ( なら 100 年会館 )

なら 100 年会館で 10 月 10 日のチャリティオーケストラのコンサートは、「火と水の祭典」がテーマです。チケットの収益金を全額、みんなの知っている世界遺産の大仏さんのお寺、東大寺にある 1300 年続いている道の景観保全のために使うことを説明しました。

1300 年前から続いていた道を 1300 年後に続けるための、音楽によるチャリティ活動。多くの方に理解していただき、おうちの人たちとコンサートへ来ていただきたいことを説明しました。

エルガー : 愛のあいさつ 演奏

関西フィルハーモニー管弦楽団というオーケストラは、ふつうは 60 人ぐらいです。今日はその中から、弦楽器 4 人できました。

楽器紹介 ( 簡単な演奏を交えながら )

松やカエデなど、硬さの違ういくつもの種類の木から組み合わせてある弦楽器。また、どうやったら大きな音が出るかなど、楽器の仕組み、演奏法を教えてくださいました。



弓はこんな風に外すことができます。



チェロは大きすぎて、顎に挟むことができません。

シュトラウス : ピチカート・ポルカ 演奏

ちょっと変わった演奏法を披露。飛び入り参加で、音楽の渡会先生が、トライアングルを担当してくださいました。

ヴァイオリン体験

初めてバイオリンを見たり聞いたりしたという児童がたくさんいました。それでは、その中から 2 名の人に実際に演奏してもらいましょう。なんと、弦楽四重奏とともに、「しあわせなら手をたたこう」を演奏しました。



みんなの前でちょっと緊張気味

ラバースコンチェルト生徒全員のリコーダーと先生のピアノの演奏

プロの演奏家に自分たちの演奏も聴いてほしい。そんな思いから、全員でリコーダー

を演奏しました。ピアノは渡会先生です。美しい音をリコーダーで奏でる演奏に関西フィルのみなさんはびっくりです。



全員で2つのパートに分かれての演奏

生徒のリコーダーと「ラバースコンチェルト」共演

次は、弦楽四重奏との共演。オーディションで選ばれたリコーダー12名との合奏です。この日のために、暗譜でふけるように練習しました。いつものピアノの伴奏とは違った弦楽器のやわらかな音色を聴きながら、リコーダーを演奏しました。



すてきな演奏にみんなうっとり

モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章 演奏

プロの音色を最後にもう1曲。この曲は、モーツァルトのお父さんが亡くなって、とても悲しい時に作曲されたそうです。でも楽しそうな曲でそんなことは少しも感じさせない曲です。

そして、二人のお友達が、指揮にも挑戦。ゆっくり振るとゆっくりに。速くふると速くなることに少し戸惑ったようですが、それが生演奏の素晴らしさ。それぞれの個性を感じさせる指揮でした。



平成 21 年 7 月 8 日 (水) 9 : 40 ~ 10 : 25

伏見南小学校 打楽器のアウトリーチを実施

対象：4 年生 62 名

場所：音楽室

講師：齊藤盛章（パーカッション）、エリック・パキラ（パーカッション）

内容（概要）

チャリティオーケストラコンサートの趣旨説明（なら 100 年会館）  
（7 月 6 日と同じ）

学校にある楽器の実演・演奏

アメリカ人のエリックさんは、「ボストン」出身。ボストンは「クラムチャウダー」が名物。そして今日のテーマは「みんなで楽しくうたいましょう。」

この

「ボストン」

「クラムチャウダー」

「みんなで楽しくうたいましょう」

という 3 つのキーワードには、実は今日挑戦するリズムが隠されています。

音楽の中のリズムと言葉のリズム。とっても関係が深いことを教えていただきました。





「いろんな木の実」を使ってリズム体験

「ポストン」は、

「クラムチャウダー」

「みんなで楽しくうたいましょう」

まず、足踏みをしながら、手でリズムをたたきました。ちょっと難しかったけれど、3つのパートを入れ替わりながら、全員がリズムたたきをしました。



それぞれのリズムを先生が楽器を変えて演奏。「あの楽器とっても良い音がするね。」



「いろんな木の実」のリズム合奏と合唱

音楽担当の渡会先生のピアノ、エリックさんのマリンバ、みんなの歌声、手拍子、足拍子がひとつの音楽になりました。

とても難しいリズムも言葉を乗せるとできます。言葉をリズムに変えるとわかりやすいですね。しゃべり方で表情を伝えるたたき方を変えることもできますね。



打楽器曲の演奏

エリックさんが小太鼓だけで演奏してくださいました。みんな釘付けです。これも学校にある楽器です。「伏見南小学校の楽器は、とてもよく手入れされていて、よい状態です。素晴らしい小学校ですね。」プロの方に褒めてもらって、みんなもとても良い気分。

授業が終わってから、斎藤さんとエリックさんはみんなのサイン攻めに。長い列ができました。  
「いろんな小学校に行ったけれど、こんなことは初めてです！」



平成 21 年 7 月 9 日（木）10:45～11:30

伏見南小学校 5 年生 90 名を対象とした管楽器のアウトリーチを実施

場所：音楽室

講師：虎谷朋子（フルート）、朝倉祥古（オーボエ）、中川直子（ホルン）、  
梅本貴子（クラリネット）、河津伸子（ファゴット）

内容（概要）

チャリティオーケストラコンサートの趣旨説明（なら 100 年会館）

（7 月 6、8 日と同じ）

100 年会館に来たことのある人？この問いかけにたくさんの子供たちの手があがりました。  
みんなの市民ホール。多くの市民が、コンサートを聞きに来られることはとてもうれしいこと  
です。



#### ハイドン：ディベルティメントより第1楽章 演奏

今年はハイドンの没後 200 年という記念の年。木管の響きで、楽しんで聞いてみてください。みんな、珍しい楽器の生演奏に、真剣に聞き入っています。



#### 楽器紹介

##### フルート

今は金属でできていますが、昔は木でできていました。だから木管の仲間です。

##### オーボエ

日本の楽器では箏箏と同じ仲間。鳴らすことがとても難しい楽器です。フランスで洗練された楽器です。

##### クラリネット

オーボエとは姿は似ていますが、歌口が違って、1枚リードの楽器です。クラリネ



ットポルカをみんなの中に入って演奏していただきました。

ファゴット

オーボエと同じリードの構造で音がでます。長い楽器で、全部伸ばすとなんと3メートル近くになります。長い楽器ほど、低い音がでます。

ホルン

金管楽器ですが、やさしい音色なので、木管楽器ともよく一緒に演奏します。

写真

リズムで遊ぼう～アゲイ：5つのやさしいダンス 演奏～

3つのグループに分かれてリズム打ちを練習。5つの舞曲、最後のときに、五重奏の皆さんと一緒に演奏を楽しみました。

「明日があるさ」生徒全員のリコーダーと先生のピアノの演奏

この日のために、みんな一生懸命に練習をしました。



生徒のリコーダーと木管五重奏が、「明日があるさ」共演

Aグループリコーダー12名

Bグループリコーダー12名

代表のみなさんとの合奏。今回の授業のために、新しくアレンジされた曲です。



### みんなと歌おう となりのトトロより「さんぽ」

#### 伏見南小学校での先生方の感想

- ・テレビ等よく耳にする曲があったので、きいていて楽しかった。こどもたちも楽しそうだった。
- ・CD等で聴くのと違い、演奏されている方の様子（表情）からも音楽が伝わってきたような気がする。
- ・プロとこどもたちが、共演できてよかった。
- ・実際に実物を見て、音を聞かせてもらえると、音の出るしくみなど、少し難しい内容の部分もあったけれど、興味をもてたように思う。
- ・知能が2, 3歳のこどもも参加していたが、楽しんでいた。
- ・時期的に少し余裕があればよい。そしてすぐに夏にコンサートがあればよいかも。
- ・実際に行くまで、不明な点が多く、不安だった。
- ・4年生はこどもにより経験をさせてもらえてよかった。
- ・5年生は集中していて授業の流れがとてもよかった。こどもの反応も良かった。知っている曲が多くて楽しかった。
- ・6年生はきれいな音の生演奏が良かった。集中していたし、実際に体験もできてよかった。
- ・ホルンは重い等、実際に楽器を持ってみたかった。写真では重さがわからない。
- ・クラシックの楽器を一生見ることがない子もいる。一生に一度の経験をさせてもらったことに感謝している。
- ・単発ではなく、毎年やってほしい。いろんな企画ができ、いろんな楽器がきける。音楽は違う学年と一緒にやることもできる教科。違う学年との音楽を通じた交流にも挑戦したい。